

第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について

1. 評価時点

○令和7年9月末時点の進捗状況について評価

2. 取組状況

○取組数

34取組（医療・福祉、産業振興、公共交通、人材育成 など）

○評価基準

実績値等からA B Cの3段階で評価

- ・「A」…令和7年度目標値を達成見込みであるもの
- ・「B」…令和7年度目標値については未達成の見込みではあるものの、取組の一定の進捗が見られるもの
- ・「C」…令和7年度目標値については未達成の見込みであり、進捗に遅れ等が見られるもの

○指標の評価概要（全59件）

- ・「A」評価 40件（約68%）
- ・「B」評価 15件（約25%）
- ・「C」評価 0件（約0%）
- ・実績値なし 4件（約7%）（※9月末時点で集計ができないもの）

3. 新規連携・既存取組の拡充について

○各部会（※）において、新規連携・既存取組の拡充等について検討

- ※医療・福祉部会、教育部会、産業・観光部会、公共交通・基盤整備部会、総務企画部会
- ・新規連携、既存取組の拡充なし

4. 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会開催状況

○開催日時

令和7年11月18日（火）

○構成員

医療・福祉・教育・産業・交通など各分野の団体等に属する委員17名

（各市町より推薦いただいた委員7名を含む）

○懇談概要

◆ 人口減少・少子高齢化による影響

働き手・担い手の不足（若者減少、運転手・遷宮行事、閉店する事業者）

高齢者による機能維持（休日夜間応急診療所等）

高校の統廃合（子育て環境、通学手段の確保）

◆ 取組状況

≪機能維持、生産性向上の取組≫

介護現場のデジタル活用（AI 記録）、ライドシェア・カーシェア（公用車）の導入、
町営診療所の開設

≪活力創出の取組≫

ふるさと納税推進、式年遷宮に向けた取組、合同での創業セミナー開催